

2018年度議会構成が下記のように変わりました。



(常任委員会構成 委員長 副委員長 理事) 2018年度					
	総務企画	福祉区民	文教子育て	建設環境	議会運営
日本共産党 (5名)	小林行男	斉藤邦子	横山幸次	小島和男 安部キヨ子	小林行男 横山幸次
自民党 (13名)	並木一元 服部敏夫 志村博司	北城貞治 菅谷元昭 若林清子 斉藤泰紀	茂木弘 町田高 中島義夫	小坂眞三 明土真弓美 鳥飼秀夫	志村博司 北城貞治 小坂眞三 菅谷元昭 中島義夫
公明党 (6名)	森本達夫 田詠子	松田智子 中村尚郎	菊地秀信	保坂正仁	菊地秀信 保坂正仁
民主ゆいの会		竹内明浩	清水啓史		竹内明浩
元気クラブ	斉藤裕子				
創新党			小坂英二		
改革の会			藤沢志光		
市民の会				瀬野喜代	

5月30日、荒川区議会の2018年度定例会・開会議議に、各常任委員会、特別委員会の議員の所属を決めました。
私は、昨年同様建設環境委員会と健康危機管理対策調査特別委員会に所属します。
再開発・街づくり・環境清掃など日常生活にかかわる対策とエネルギー・感染・東京女子医大問題などの対策などを充実するために頑張ります。

日本共産党荒川区議団
あんべ
安部キヨ子
区政ニュース

議長選挙の結果
(出席30名)
若林清子(自民) 24票
小林行男(共産) 5票
小坂英二(創新) 1票
現在30名と
なっています。

荒川区議会は、2名欠員(昨年、自民の守屋氏が死去・共産の相馬氏が都議選立候補のため)。
議長は、若林清子議員に。副議長は吉田詠子議員が当選されました。
お寄せ下さい。
皆さんからのご意見・ご要望を

(特別委員会構成 委員長 副委員長 理事) 2018年度				
	震災対策	健康危機	観光文化	援助団体
日本共産党 (5名)	小島和男	安部キヨ子	斉藤邦子 横山幸次	小林行男
自民党 (13名)	服部敏夫 菅谷元昭 鳥飼秀夫	町田高 若林清子 北城貞治	中島義夫 小坂眞三 斉藤泰紀	明土真弓美 茂木弘 並木一元 志村博司 松田智子
公明党 (6名)	中村尚郎 田詠子	保坂正仁 菊地秀信	森本達夫	
民主ゆいの会	竹内明浩			清水啓史
元気クラブ		斉藤裕子		
創新党	小坂英二			
改革の会			藤沢志光	
市民の会			瀬野喜代	

NO.762号
2018年5月の3
区役所区議会控室
直通 3802-4627
" FAX 3806-9246
Email:
arajcp@tcn-catv.ne.jp
ホームページ
http://www.tcn-catv.ne.jp/
p/jcpara/
安部キヨ子事務所
西尾久7-6-10
電話・FAX
3894-6668

区内製造業 卸売業 運輸業の調査から

日本共産党区議団は、事業所の全数実態調査を求めてきました。2013年に続いて、昨年6月15日から10月10日に製造業に加えて卸売業・運輸業の調査が行われました。



調査方法は、調査依頼のハガキを郵送し、宛先不明で戻ってきた260社を除いて、中小企業診断士が調査員と戸別訪問調査を行いました。

産業経済部の若手職員7名が20社訪問して、事業所の実態を直接つかんだことは意義深かったようです。大変だと思いますが部長課長を先頭に関係職員がみんなで訪問調査に向かうことも、生きた産業施策を検討する上で大事なことでないでしょうか。

訪問で廃業・休業中・区外移転などが確認できた725事業所を除き調査対象は1830事業所でした。調査拒否496社あり、回収率は72.9%でした。

事業継承	製造業		卸売業		運輸業	
	事業者数	構成比	事業者数	構成比	事業者数	構成比
過去5年以内に継承済み	100	10.0	32	12.2	3	10.7
後継者に継承予定	187	18.7	48	18.3	8	28.6
事業廃止・清算予定	289	29.0	48	18.3	4	14.3
事業を売却	4	0.4	1	0.4	0	0.0
検討する時期がない	237	23.7	81	30.8	12	42.9
検討しているが未定	181	18.1	53	20.2	1	3.6
回答数	998	100.0	263	100.0	28	100.0

経営者の年代は60才以上が圧倒的で製造業・卸売業では70%、運輸業は50%となっています。

また製造業で事業の継承せず廃止・清算が3割近くで、全国的にも言われている後継者問題への手立てが必要です。

区内事業者の規模は、やはり製造・卸売業では5人以下が70%、20人以下では9割となっています。

荒川区には小さくてもキラリと光る重要なものづくりがあります。中小零細業者へのきめ細かな対策、若者が働きやすい、定着

従業員数	製造業		卸売業		運輸業	
	事業者数	構成比	事業者数	構成比	事業者数	構成比
5人以下	660	76.7	159	68.5	8	24.0
6~20人	138	16.0	44	19.0	9	36.0
21人~50人	39	4.5	16	6.9	5	20.0
51~300人	23	2.7	10	4.3	4	16.0
301人~	1	0.1	3	1.3	1	4.0
	861	100.0	232	100.0	25	100.0

【強化すべき区の施策(3つ選対)では】
製造業 販路開拓支援34.6% 資金調達32.0% 従業員の確保、育成支援18.2%
卸売業 資金調達31.7% 販路開拓支援31.1% 従業員の確保、育成支援19.8%
運輸業 資金調達55.5% 従業員の確保、育成支援35.0% 事業継承支援15.0%

できる職場づくりへの支援も必要です。

お詫び:区政ニュース761号で荒川遊園地の雪あそびの1袋の重さが50kgと記載しましたが500kgが正解です。訂正しお詫びします。



定例法律・生活相談のご案内
6月15日 金曜日 6時半から8時まで
お急ぎの時は、北千住法律事務所に予約できます。また、生活相談も随時行っていますのでご連絡ください。
安部キヨ子事務所 3894-6668

小中学校のタブレットPC活用の検証報告



5月17日の文教子育て委員会に教育委員会から「ITC教育におけるタブレットPC活用の成果検証と今後の方針について」の報告がありました。



機器等のリース契約は2019年7月迄です。教育委員会はそれ以降もプロポーザル方式で契約の相手方を決め小中学校のタブレットPC教育を継続する方針です。

台数も小学1・2年生は4学級1セットから文科省が推奨する3学級1セットに増やすことも検討しています。

活用が少ない、減少傾向にある教科について効果的な活用の研究や授業の改善などをすすめるとし、多額な予算を使ったことやデメリットについての検証がありません。

教育委員会自身が決めた「基本は読み書き・計算・体験学習の重視・学校図書館の活用・タブレット授業のツールの一つ」に基づく検証が不十分です。

授業を行っている現場の教員の率直な声を十分に聞き取っているのでしょうか。

日本で最初にすすめてきたのですから、報告書を多方面に見てもらい、ご意見を伺うことが必要ではないでしょうか。

先進導入国の韓国では、全面見直しや学力先進国フィンランドの少人数学級なども合わせて検証もして検討をすることが大切だと考えます。

2013年9月～

モデル事業で第三峡田小・尾久小・第二日暮里・諏訪台中に1人1台導入

1,178台(充電保管庫74台)

契約期間 2013年8月～2019年7月

契約金額 3億8,693万円

2014年9月～

小学21校・中学校9校全校導入

小学1～2年生4学級に1セット(35台)

小学3～6年生2学級に1セット(40台)

中学校1学級に1セット(40台)

9,131台(充電保管庫523台)

契約期間 2014年4月(導入準備)から2019年9月

契約金額 27億1,934万円

【環境整備】

回線増強・教員のパソコンからタブレットへの変更

契約金額 1億8,832万円

委託契約先は、内田洋行

(富士通タブレットPC 機器調達/児童生徒用8,995台・教員用876台・

予備438台で合計10,309台・利用環境整備・運用支援員派遣・

ヘルプデスク対応)

委託経費 6年間で約33億円(1年間5億5千万円)

街の声

介護保険サービスを利用しています。これまで要支援2でした。介護事業者を他区で利用していましたが

今年の4月から要支援2の方は、住んでいる自治体で介護事業者を利用してくださいと事業者から言われ、ケアマネさんと相談し荒川区の事業者に変えました。利用者としては以前のなれた事業者がいいなあと感じていました。なぜ以前の他区のまま利用できないのでしょうかとご質問が。(80代男性の声)。

区は、「本年4月から要支援の方は住んでいる自治体で利用するように総合支援事業制度の中で変更されました。ただし、他区の自治体が荒川区に指定事業者として申請

をすれば従来通り利用できます。

なお、要介護1以上ですとどこの自治体の介護事業者も利用できるようになっています。」と回答。

荒川区は、近隣区に囲まれていますし、他区の自治体で利用されている方もいます。区の指定業者になるのは、多くの必要書類など出さなければいけません。事業者の利益に繋がらないなどのこともあるようです。

地域に密着した介護事業者が総合支援制度になったことでマイナスにならないようにすべきです。何より利用者の利便性と安心を最優先すべきではないでしょうか。



ご意見・要望いただきました。

○防災ひろば(西尾久1丁目)の桜並木の枝が電線にかかっています。通行人として危険ではないかと思っていますと。区は「区の防災ひろばなので確認をします。」とのことです。



○防災行政無線について「最近、防災行政無線から、オレオレ詐欺対策についての音声も聞こえていますが、何を言っているのかが分かりません。最初の荒川区は聞こえるけど、せめて聞きやすい声で改善をしていただけないでしょうか? また、音声を流す際に区の職員が試験をし(声の効きやす

さなど)確認して無線を発信して頂けないでしょうか。

区は「マンションなどの建物が高かったり住宅も密集している関係もあり苦慮していますが、ご提案の件は、研究してみます」との回答です。

○ふれあい・ひろば館を利用している方から。

カラオケをふれあい館によって、回数が少ないが増やすことはできないでしょうか? 区は「各ふれあい館の部屋数の違いがあり、多々の事業も実施中です。がすぐ回数を増やすことは難しいが区としても区民の要望を取り入れるよう検討はしています」とのことです。また、西尾久みどりひろば館はカセットデッキでカラオケを楽しんでいるがふれあい館のような機具の予定は? 区は「今の機具が破損したら利用者の声を聞いて新しいものに変えていきます」と。



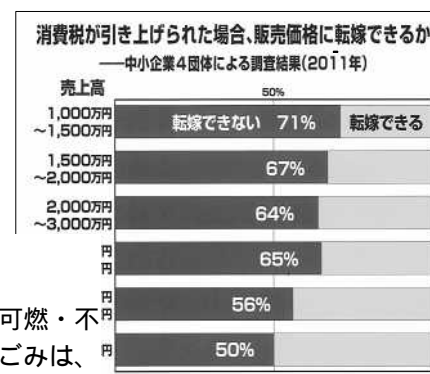
荒川区のゴミ・資源の実情

燃・資源)は年間72,196 tで量としては、23区中で一番少ない。そのうち家庭ごみは、プラスチックも可燃ゴミにしたことで、90%を燃やしており、一人あたりの1日に出す量は 1人1日当たりのゴミ量と順位 23区中9位と中ほど。

事業系ごみは、15位と事業活動の規模の縮小・低迷が示されています。ゴミ減量のためには、家庭ごみ対策が大切です。荒川区も新聞紙の再生や台所の生ごみ減量

区分	荒川区		23区平均	
	順位	数量[Kg]	数量[Kg]	
家庭系ごみ	可燃ゴミ	10	0.599	0.567
	不燃ごみ	8	0.033	0.028
	粗大ごみ	23	0.014	0.017
	総計	9	0.646	0.612
事業系ごみ	15	0.17	0.305	
資源	18	0.161	0.174	
合計	14	0.978	1.090	

や水をよく切ることなど。できることから取り組んで欲しいとしています。



ゴミの組成割合

区分	荒川区		
	%	g/1人・日	
可燃ごみ	紙類	21.9	103
	厨芥類	42.4	201
	繊維類	3.6	17
	プラスチック容器	9.8	45
	その他	13.2	62
	総計	90.9	431
不燃ごみ	0.2	1	
資源ごみ	8.9	43	
その他	0.1	0.3	
合計	100	475	